

## 「第3次生物多様性かぞ戦略」策定に伴う意見等及び回答について

No.	委員名	意見等	委員会当日の事務局回答	回答	備考
1	奥貫委員	<p>① 国及び県が同じ計画期間だが、市だけ違う。その理由は。</p> <p>② 計画の目標値(例 P.38 取り組み事業 1-1-(3)生きものへの配慮)が現状値よりも下回っている箇所が何か所もあるため、説明していただきたい。</p>	<p>① 加須市の総合振興計画との整合を図るためそちらに合わせています。</p> <p>② 例の部分は農業担当課に確認し報告いたします。(他の部分も同様)</p>	<p>① 左記のとおり。</p> <p>② 農振農用地区域内の田のほ場整備率と生活道路側溝整備延長距離については、指標として相応しくないため、解除しました。</p>	R7.12.19 委員会
2	青木委員	<p>① P.36 1-1-(3)生きものへの配慮を普通種も含めた意味合いも兼ねて野生生物の保護に変更した方が良いのではないか。(希少種、外来種でそれぞれ個別に施策・事業があるため。)</p> <p>② P.38 1-2-(1)身近な緑の保全・創造・活用に⑤として「植栽を行う場合は地域本来の植物在来種を利用しましょう」の追加を提案します。</p> <p>③ P.38 1-2-(1)④の具体化で住民への周知、モデル(お試し)事業の提案です。 ・公園等で生き物と呼ぶ仕掛けの設置(1か所) (草地タイプの場合面積も狭く、お金も手ごろで春と秋の七草や虫の音など文化面でも価値が高い。) ・各家庭での生き物と呼びこむ仕掛けのパンフレットの作成配布や、その講座の開催。</p> <p>④ P.40 指標・回数：・取組内容の修正。 ・お花が池の外来種防除草刈ごみ拾い等の保護活動回数を、6回に変更。 ・取り組み内容は。 市民の市内の環境美化→お花が池の保全に変更。</p> <p>⑤ P.60 3番科目にカミツキガメを追加してほしい。(お花が池にて確認したため。)</p>	<p>① 検討いたします。</p> <p>② 持ち帰り検討いたします。</p> <p>③ 来年度できるかはわかりませんが、検討してまいります。</p> <p>④ 大利根総合支所地域振興課に確認し見直しできるか含め、確認いたします。</p> <p>⑤ 加筆修正いたします。</p>	<p>① 「野生生物生息環境の保全」とします。</p> <p>② 植栽を行う場合は、地域本来の在来種を植えるように配慮します。</p> <p>③ 「季節ごとに各家庭における植物の生育環境創出取組の周知啓発を実施する」を加えます。 周知啓発回数・4回/年</p> <p>④ 実施 6-計画 6 に修正します。 「お花が池の環境美化」に修正します。</p> <p>⑤ カメ目-カミツキガメ科-カミツキガメ、を追加・修正します。</p>	R7.12.19 委員会

3	佐藤委員	<p>① 計画内容が「推進します」「努力します」「努めます」が多く、前回のかぞ戦略の計画に対する、達成率はどのくらいですか。</p> <p>② この計画に対する具体的な実施計画はありますか。どんなふうに進めるのか、どのような体制を取っていくのか具体的なところが見えない。指標となる事業をこれから計画するのか。(学芸員・専門家を配置する等の具体的な方向性はどのように考えていますか。)</p> <p>③ この計画で何かをやるといものがない。計画のための計画だが、この計画を見て、何かをやろうと思える計画ではない。</p>	<p>① 全 50 事業のうち目標達成が 27、概ね達成が 12 行やや遅れが 7、大幅遅れが 4、という結果でございます。</p> <p>② 浮野の里、風の里、オニバス自生地、お花が池、を代表的な指標として位置付け、個別具体的な事業を総合振興計画に基づく施策・事業として、各地域で所管のうえ指標を設けて計画的に実施しております。いずれも、総合振興計画の第 4 章豊かな自然と快適な環境のまちづくり—政策 2 豊かな自然と共生するまちをつくる—施策 1 自然環境との共生—事業 2 水辺環境の保全・再生・活用、に位置付けております。</p> <p>③ 地域ごとに予算措置をしているため、各部署と個別具体的な計画や連携をとりながら取り組みます。</p>	<p>① 言い回しは「～します」を基本に修正します</p> <p>② 左記のとおりです。</p> <p>③ 左記のとおりです。</p>	R7.12.19 委員会
---	------	---	---	---	-----------------

4	前田委員	<p>① 加須市として計画よりも実行計画であるべき。 P.38 のコウノトリトキをシンボルとした取り組みの推進で目標に会議に2回参加となっているが、参加するのは当たり前であり、目標値にするのは違う。 会議に参加して具体的に何をするか(渡良瀬遊水地エリアエコロジカルネットワーク推進協議会の中でアクションプランを出しているためそれ)を指標にするべき。(P.41 も同様)</p> <p>(回答を受け) 今回、ネイチャーポジティブの文言を追加したが、2030 年が国際目標である。 5 年後だが、現時点で研究途上のため会議に出席しますでは、何も実現できない。 無理やりにもメニューを入れないと戦略にならない。</p> <p>② P.38 の生き物への配慮の指標で、ほ場整備率、生活道路側溝の整備の延長距離があるが、やる内容によっては、生き物にとってマイナスなことがある。実際に生き物にとってプラスになるメニューをあげていただきどれぐらいやるのかというふうにしていただきたい。</p> <p>③ P.46 にイベントの開催(平和祭参加申し込み団体やトライアスロン大会の誘致等)が入っている。 生物多様性と関係しない内容がなぜ入っているのか。</p> <p>(回答を受け) この指標は相応しくないため、そのイベントで自然豊かな場所と知っていただくような何か配る等していただきたい</p> <p>④ P.30 SDGs の6 番目安全な水とトイレを世界中に 2030 年までに山林、森林、湿地河川、帯水層補償などの水に関する生態系の回復を行うという内容が入っている。中身を確認し、丸を付けていただきたい。</p>	<p>① 今後も会議に参加し、他の取組につなげられるようにします。 環境科学国際センターと担当者レベルで協議しているが、具体的な案が出ておらず調査研究段階のため、引き続き会議参加することが重要だと考えています。</p> <p>(再度質問を受け) 検討いたします。</p> <p>② 見直し検討いたします。</p> <p>③ 多くの市民の皆様々に自然に親しんでいただくということで団体数を入れています。</p> <p>(質問を受け) ご指摘の通りのため検討し見直しいたします。</p> <p>④ 持ち帰り〇がつくか検討いたします。</p>	<p>① 左記のとおりです。 コウノトリは、水鳥に関する生態系では守るべき象徴的な鳥として位置付けられていることからシンボルとしており、そのことにより水辺・湿地環境全体の保全に繋がっていくことが本来の目的です。 そうした観点から、P.38 は、コウノトリを含め野鳥に関心を持っていただく周知・啓発活動が重要になってくることから野鳥観察会を指標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)加須市物産観光協会 探鳥ハイキング (2月)</li> <li>・一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 (5月、1月、2月)</li> </ul> <p>野鳥観察会の参加啓発促進・3回 →また。P.41 は、保全・再生のため、エコロジカル・ネットワークについての周知啓発を行うとともに、引き続き2つの会議体へ参加し情報共有と協議を進めます。</p> <p>② そもそも、生き物への配慮を考慮しながら整備に努めるため、当該指標はこのままとします。</p> <p>③ 左記のとおりです。</p> <p>生物多様性に係る周知・啓発ちらしを作成・配布するため、取組ごとに必要枚数を精査し配布します。従って、指標はこのままとします。</p> <p>④ 別添のとおり修正します。</p>	R7.12.19 委員会
---	------	---	--	--	-----------------

5	佐藤委員	<p>① この計画にコンサルは入っていますか。</p> <p>② 資料の中に生物調査結果が入っているが、抜けているところがある。また、最近の外来種や帰化植物が入っていない。昔と随分変わっているが、データにない。 計画書を作成する段階で、調査するべきだったのではないか。データがないと計画書はできない。 コンサルや専門家を入れるぐらいのやる気はあるのか。 計画書を作って終わりではない。 この計画書では、実際の行動には移せない。</p>	<p>① 入っていません。</p> <p>② 動植物の更新は、環境科学国際センターから出されているデータを修正し提示しております。 そのほかご指摘部分は、改めて内容を確認いたします。</p>	<p>① 左記のとおりです。</p> <p>② 左記のとおりです。</p>	R7.12.19 委員会
---	------	---	---	---------------------------------------	-----------------